

# 地域コミュニティワークショップ 実施概要(西大寺北地区)

## 第1回

日時: 5/24(日)  
9:30-11:30  
場所: 西大寺北地域  
ふれあい会館  
参加者: 23名

ファシリテーター役を務める「場とコトLAB(ラボ)」の中脇健児氏から、奈良市や地区の人口、高齢化率等の数字データを示した後、3回のワークショップの趣旨(将来像を定めるための会議であり、要望を聞く場、具体的な施策提案をする場でないこと)を説明していただきました。

その後、参加者は、5つのキーワード【①暮らし・生活、②福祉・健康、③にぎわい・交流、④教育・こども、⑤防犯・安全】の中でもっとも興味があるキーワードのグループに分けられました。模造紙とフセンを使って、それぞれのグループで地区の魅力(良いところ)や課題(残念なところ)について話し合い、最後に各グループの代表者が発表することで、参加者間で結果を共有しました。各グループで作成したものは1つにまとめ、壁新聞にしました。



## 第2回

日時: 6/13(土)  
13:30-15:30  
場所: 西大寺北地域  
ふれあい会館  
参加者: 21名

前回の壁新聞を1枚の紙に整理したものを配布し、前回の話し合いを皆で確認しました。その後、各グループで出た課題の中から3~5つを各グループで話し合っって選び、その課題についてどんな解決方法が考えられるか皆で考えました。

その際、「問題シート」を使い、「行政が取り組むこと」「地域と行政が協働して取り組むこと」「個人や団体、地域が取り組むこと」の3段階でそれぞれできることを出し合い、最後に各グループの代表者が発表することで、参加者間で結果を共有しました。



## 第3回

日時: 7/11(土)  
13:30-15:30  
場所: 西大寺北地域  
ふれあい会館  
参加者: 22名

前回各グループで出た課題と解決方法を一覧表にし、それぞれの課題・解決方法に対する行政からのコメントを返しました。コメント返しに対して地域住民から行政に質問や意見が出されました。地区割りの問題等、今後も行政と地域でコミュニケーションをとる必要がある課題も見えてきました。

その後、中脇氏が3回のワークショップをまとめました。西大寺北地区においては各種団体の協働に対する意識が高く、既に十分なコミュニケーションがとれています。しかし、この地区には近鉄大和西大寺駅の踏切問題などこの地域特有の課題がありますが、地区特有の企業(例えば近畿日本鉄道やならファミリー)にも参画してもらうことで、解決への道が開けてくることが考えられます。また、どの団体にも所属していない住民をどのようにしてまちづくりに巻き込んでいくか、こういった点を意識しながら地域自治組織の設立に向けた取組みを進めていこうという考えを参加者間で確認しました。